

新年最初の協議会 「足元を見直し次の飛躍へ」

■ 第三十八回目の協議会の概要

第38回協議会が1月21日に開催された。今回は地域の方々、市職員の方々、横浜国大の教員・学生などを含め、23名の参加があった。今回の協議会では主に、村上会長からの新年の挨拶、和田町で現在進行中のプロジェクトの現状報告やストリートライブ支援事業の提案・協力要請のほか、消防団員の活動報告などが行われた。

■ 新年の抱負

新年最初の協議会は、村上会長の挨拶から始まりました。

【右写真】「あけましておめでとうございます。昨年は未曾有の不況の到来により、商店街としてはとても厳しい年でありました。今年は“己（つちのと）丑”ということで、足元を見直し、土台を固めようという年であります。商店街としても原点を見直して、次の飛躍の準備をする年ではないかと考えています。」とコメント。また、「足元を見直していく中で、このタウンマネジメント組織はとても大切な役割を担っていると感じています。今後も和田町、大学共に協力していきましょう。」と国大の佐土原先生。今後も和田町と国大の連携、地域の発展を目指します！

■ 新メンバーが加わりました！

国大の秋元先生の紹介により、地域商業活性化について研究している大熊省三さんが協議会に加わりました。「はじめまして。私は商店街の活性化を実務として活動しております。現在はその中で、商店街活性化組織というののどのように形成し、いかなるプロセスを経ていくべきなのか分析しており、色々なところで発表させて頂いています。この研究が商店街活性化の一助になっていけばと思います。以前から和田町についても興味を持っており、今後ともお付き合いしていきたいと思いますのでよろしくお願い致します。」とのこと。新メンバーも加わり、協議会のさらなる活性化が期待されます。

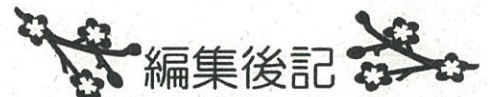
■ イベント多数企画！スタジオ★へそちく

和田町で様々な活動を行っているスタジオ★へそちく。そこでは“ミステリーツアー”や“職人・名人セミナー”、“わだまち★カフェ”等が企画されています。今回注目したいのは職人・名人セミナーです。毎回プロの方を講師として招き、アイロンの上手なかけ方からフラワーアレンジメントまでと、実用的なものから日々に彩りを加えるものまで幅広く開催されています。次回は3月開催予定の電気屋さんに関する《地デジ講座》です。興味のある方はぜひチェックしてみてください。

スタジオ★へそちく <http://www.hesochiku.com>



協議会の様子。
活発な議論が展開されます。



編集後記

新年第1回の協議会が開催され、お正月気分もそこそこに、様々な活動が開始されました。

協議会においても新メンバーが加わり、心機一転！！より一層議論が盛り上がりそうな予感がします。また、会長より「土台を固める」というお話が出ましたが、あせらず、たゆまず、おこたらず、一步一步着実に進んでいきたいと思えます。

和田べんプロジェクトの年内最初の活動は、1月30日にパシフィコ横浜で行われたシンポジウム「地域再生モデルの提言」での発表です。そこでは、べっぴんマーケットでオープンカフェを開催した「公共空間の活用とにぎわい作り」プロジェクトの他、国大内の数々のプロジェクトが活動内容・成果を報告しました。和田べんとしても今までの成果を踏まえ、次につなげたいと思えます。

また3月に開催されるべっぴんマーケットにおいても、自分たちが何をすべきか、また和田町のために何ができるか模索中です。

次回の協議会ニュースはべっぴんマーケットについて詳しくお知らせしたいと思います。

和田べんプロジェクト 